

連絡体制を構築するためのシステムづくりに努めたい。また、中原川の下流から雨水渠を順次整備しているが、

根馬 和子

観光プロジェクトについて

問 1 観光プロジェクトの設置期間と、行動計画の実際の動きは、いつどのようにするのか。

答 2 観光総社らしさの発見、総社の物産を発信するため、大学生をはじめ、幼児から高齢者まで広く意見を収集して具現化していけば、成功すると考えるがどうか。

完成後は雨水ポンプ場を運転し、早期に浸水防止を図れるが、それまではウイングパレイ内の排水ポンプの

3 備中国分寺周辺に桜の木などの記念樹またはオーナー制度による植樹を企画して、リピーターを増やす方法を考えたかどうか。

答 1 中央の委員と地元観光活動者で構成する観光プロジェクトの任期は平成22年3月31日であるが、観光に終着点はないので、引き続き総社市の観光について提言をもらいたい。

2 産官学の連携と共同開発研究という目的をもって、



吉備路のシンボル備中国分寺五重塔。周辺へのオーナー植樹などが提案された

運転により中原川への流下を防止している現状である。(市長)

大学生から観光分野の意見を聞きたい。また、ネット活用の意見箱設置など、子どもやお年寄りの意見も観光分野に反映させたい。

3 記念樹、オーナー制植樹は今後、様々な規制がある中で、県など関係機関と協議し、詰めた議論をしたい。吉備路風土記の丘周辺、旧山陽道、もてなしの館とを1、2時間で結ぶ散策プランも分科会で検討される予定である。リピーターは非常に重要であり、もう一度行ってみたいという観光にしたい。(市長)

男女共同参画について

問 1 男女共同参画社会への取り組みの実態と進捗状況はどうなっているか。
2 活動拠点の整備やドメスティック・バイオレンス被害者等の相談場所を考えたかどうか。

答 1 仕事と家庭の両立を支援するための保育所や放課後児童クラブの充実、働く婦人の家ではエンパワーメント向上の講座や再就職準備講座、職業相談等を行っている。ドメスティック・バイオレンス被害者の保護支援も、関係課が連携して対応している。今後も多様な生き方を認め合える社会の実現に取り組みたい。プランの進捗状況については、講演会への男性参加率、つどいの広場設置数、審議会等委員への女性の

2 活動拠点は、既存施設と併設の形で検討してきたが、特別な拠点づくりには至っていない。啓発の場、情報提供の場として相談者が利用しやすい拠点施設の早期設置に努力、検討したい。(市長)

大熊 公平

市長の政治姿勢について

問 1 先行していた子育て王国そうじゃの施策は、既に国が分厚い支援策を出して一歩リードを許した感があるが、今後の課題は何かあるか。また、待機児童の解消はどうか。
2 ISO14001から離脱したが、今後温暖化防止策など環境問題にどのように取り組んでいくのか。

登用率など13項目にわたって目標数値設定があるが、いずれも目標をクリアした部門はないので、今後も努力したい。
2 活動拠点は、既存施設と併設の形で検討してきたが、特別な拠点づくりには至っていない。啓発の場、情報提供の場として相談者が利用しやすい拠点施設の早期設置に努力、検討したい。(市長)

このほか、学校評議員制度について質問しています。

答 1 国が子育てに光を当てて規制緩和をしてきたら、本市もやりやすくなる。今後は職員、市民が一致団結して子どもたちに優しい風を送れるよう、愛情をもって子どもを育てていくことに専念して、子育て王国を伸ばしていきたい。待機児童は新たな保育園が開園しても依然として43名いる。待機児童の解消に向け、幼児教育等研究委員会を立ち上げて検討することになっている。また、保育ママ制度(家庭的保育事業)の活用も検討したい。

2 これまでの一連の活動や思想、決意が定着してきたこと等から、ISOから脱退し、その規格への適合を自己決定、自己宣言した。

今後環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組みたい。地球温暖化対策実行計画では、平成24年度まで6・8%温暖化ガス排出量削減のため、マイバグ運動等啓蒙によるごみの減量化をはじめ、クールビズ、ウォームビズ、ゴーヤ栽培、太陽光発電システム設置補助等を推進したい。今年度中の策定を目指している環境基本計画では、産業公害規制対策に加え、市民、行政、事業者が一体となった新たな取り組みを求めている。また、来年度には小学生を対象に環境学校を検討している。(市長)

テレビ放送のデジタル化対策について

問 1 2011年7月24日にテレビがデジタル放送に切り替わるが、デジタル波が届かない地域はあるのか。
2 生活困窮世帯や高齢者世

帯への購入支援など、国と連携して進めるべきと思うがどうか。

答 1 地上デジタル放送中継局を伊与部山、美袋等に設置が予定されており、衛星放送の活用による受信対策も実施されることから、難視聴地域はほとんどなく

頓宮 美津子

子育て支援について

問 早くから聞いていれば、もう少し上手な子育てができたかもしれないという声を聞く。子育て王国そうじゃとして一番大切なのは、子育ての情報提供やサポートが必要と考える。そのために、子どもが生まれる前からのアドバイス、子育てサービス等を紹介した子育て応援ビデオを製作したらどうか。

答 子育ての悩み、子育て情報の不案内があるのは事実。子育ての不安感を取り除くことができるの

なると思う。

2 生活保護世帯への地デジチューナーの無料配布とアンテナ改修を国の施策として平成21、22年度で予定している。また、相談拠点としてテレビ受信者支援センターを各県1箇所整備し、高齢者や障がい者に訪問説明等を行うことになってい

であれば、ビデオは非常によい方法と思う。他市もまだ行っていない事業でもあり、今後前向きに検討していきたい。(市長)

総社駅前の活性化について

問 観光客から総社市の表玄関である総社駅前には食べる場所がない、コンビニがないなど寂しいという声を聞くことが多い。市街地活性化のため、れとろーどを駅前まで伸ばしたいという意見もある。大学生とのコラボレーションイベントをしたり、駅前通りの木にイルミネーションを施したりする方法もひとつと思う。今後活性化をどのように図っていくのか。

る。今後の動向を注視していきたい。

このほか、生涯学習施設の建設について質問をしています。

確かに

総社駅前には寂しい。駅の橋上化、駅前広場等で23億円を投資したが、それが生かされていないというのが現状。旧商店街のれとろーど事業が総社駅前まで届けばいいと思う。また、観光パンフレットと子育てマップを合体して観光プロジェクトで検討していこうと考えているが、イルミネーション、わかりやすい案内板の設置など、今後工夫をしていくことが必要であり、やはり駅前をこのままにはいけない。さらにハード事業を実施す



総社市の表玄関、総社駅。駅周辺の活性化策が議論された

るのは非常に難しいので、地域や行政、議員の知恵を借りて、駅前にぎわいを取り戻すよう、力を入れて前向きにやっていきたい。(市長)

このほか、障がい者支援、DV(ドメスティック・バイオレンス)基本計画について質問しています。